

DSM、2013年度の決算短信と2014年の見通しを発表 前年比より大幅な増益を達成、全部門で前年比より増益

- 前年比より大幅な金利・税金・償却前利益(EBITDA)増加を達成
(11億900万ユーロから13億1400万ユーロへ増加)
- 2013年第4四半期におけるEBITDAは、3億1600万ユーロを達成
(前年同期 2億4300万ユーロ)
- ライフサイエンス部門の第4四半期におけるEBITDAは、2億700万ユーロ
(前年同期 2億400万ユーロ)
- マテリアルサイエンス部門の第4四半期におけるEBITDAは、1億800万ユーロ
(前年同期 6,600万ユーロ)
- 2014年の目標は、少なくとも為替変動によるマイナス影響を相殺できる業績改善

ライフサイエンスおよびマテリアルサイエンスのグローバル会社である DSM 社は、2014年1月21日に2013年の決算短信と、2014年の見通しを発表しました。最終的な会計監査後の決算発表は、年次報告書と併せて2月26日に公表予定です。

DSM は厳しい経済環境にも関わらず、EBITDA において通年で前年比 20% 増を達成し、第 4 四半期では前年同期比およそ 30% 増を実現しています。

第 4 四半期においては、為替変動による悪影響を受けながらも全部門において好業績を達成しました。ライフサイエンス部門では、アメリカ市場における魚由来のオメガ 3 脂肪酸と栄養補助食品の減退、洋食・飲料市場での需要の低下、ビタミン E を筆頭とした原材料の価格圧力、年初の動物用飼料市場における需要の低さなど、更なるマイナス影響があり、予想以上のマイナス要因となりました。

尚、DSM ファーマシューティカルプロダクツは、JLL パートナースとの新会社設立取引により事業廃止部門として取り扱われています。

2014年の展望

2014 年は為替変動によるマイナス影響の継続が予想されるため、慎重な見通しを立てています。さらに、欧州における経済成長の停滞や米国市場の緩やかな経済成長、高度経済成長市場における成長率の低下など、厳しいマクロ経済環境の継続も予測されます。現状の外国為替レートが継続した場合、マイナス影響はおよそ 7000 万ユーロに及ぶ見通しです。これらの要因を考慮し、DSM は少なくともそのマイナス影響を相殺できる業績を達成することを 2014 年の目標として設定しています。

合併会社を対象とした新たな経理規定後の継続事業による前年比較 EBITDA は、およそ 12 億 6000 万ユーロに達しました。

戦略の実現

DSM は、持続可能な価値の継続的提供という戦略に基づき、ビジネスを展開しています。ニュートリション分野においては、グローバル製品としての確固たる地位を築きながら、それぞれの地域に合ったローカルソリューションの提供という独自のビジネスモデルを強みとして、より一層の効率改善を実施していきます。豊富な知識とソリューション開発のノウハウを用いてより多くの要求に応えながら、オーダーメイドで地域に合った必要な成分のブレンドや利用方法を提案する能力を高め、顧客との関係をより一層強めていきます。ニュートリション部門における 2015 年までの目標は変わらず、20-23%の EBITDA マージン（EBITDA を売上高で除した値）と、GDP 成長率プラス 2%相当の売り上げ増加となっています。

パフォーマンスマテリアルズ分野においては、ポートフォリオをより充実させ、“メガトレンド”[※]から生まれる機会を最大限活用し、収益的な成長に向け様々な戦略を実施することで、成長速度と業績の改善を目指していきます。同時に利益改善プログラムを実施することでマクロ経済の逆風を相殺し、マージンと経費の管理を積極的に行っていきます。2015 年の目標は変わらず、GDP 成長率 2 倍相当の売上成長率と、13-15%の EBITDA マージンです。ポリマー中間体部門においては、カプロラクタム販売事業の縮小も選択肢の一つとして検討しています。

※メガトレンド：人口増加、高齢化社会、都市人口の増加や健康志向の強化など、社会全体で見られる傾向のこと

JLL との取引完了により、DSM はファーマ事業における新たな価値の創造や、事業自体の価値を高める機会を得ることになります。今後は R&D（研究開発）とイノベーションプログラムに力を入れ、収益性が高い急進的なイノベーションの創出に向けて取り組んでいきます。

DSM 社 CEO 兼取締役会長 Feike Sijbesma（フェイク・シーベスマ）のコメント：

2013 年、私たちは戦略上、年間を通し 20%の EBITDA 増益という非常に重要な業績を達成しました。特に第 4 四半期におけるマテリアルサイエンス部門の驚異的な好業績は、非常に嬉しく感じています。ライフサイエンス部門では、為替変動と市場停滞により増益は控えめでしたが、市場において確固たる地位を継続しています。幅広いバリューチェーンを超えてサービス提供を行うこの事業は、構造的な“メガトレンド”により利益を得るようなポジションとして認識しています。

全部門において、持続可能な価値の創造と戦略に沿って得られる結果を届けられるようしっかりと地盤をこれからも築いていきます。短期的には、利益改善プログラムと、より積極的な R&D、イノベーションプログラムにより運用実績を大きく向上させることに力を入れます。

本リリースに関するお問合せ先

ディー・エス・エム ジャパン広報事務局（アズ・ワールドコム ジャパン株式会社内） 担当：水谷、新井
TEL：03-5575-3221 / e-mail：atsutake@w-az.co.jp（水谷）、miho@w-az.co.jp（新井）

ディー・エス・エム ジャパン 株式会社 担当：大木
Tel: 03-5472-1866 / e-mail: Nahoko.ohki@dsm.com

<参考資料>

DSM – Bright Science. Brighter Living.™

DSM 社は、科学をベースとして健康、栄養、材料分野で活躍しているグローバル企業です。ライフサイエンスとマテリアルサイエンスにおける独自の技術を組み合わせることで、経済的繁栄、環境問題への取り組み、そして社会の発展を促進し、DSM と関わる全ての人々にとって持続可能な価値を創造します。また、DSM は食品や栄養補助食品、パーソナルケア、飼料、ファーマシューティカルズ、医療機器、自動車、塗料、電気・電子機器、ライフプロテクション、代替エネルギー、バイオ素材などのグローバル市場において、顧客企業の業績向上・維持に貢献できる革新的なソリューションを提供します。DSM 社は、NYSE Euronext に上場しております。

詳細については www.dsm.com をご覧ください。

* 本リリースは 2014 年 1 月 21 日に DSM 社から発表されたプレスリリースを抄訳したものです。

将来予測に基づく記述

本プレスリリースには、将来予測に基づく記述が含まれています。これらの記述は DSM 経営陣による現時点での期待、推定、予測、および現時点で当社が入手可能な情報に基づいています。これらの記述には、予測が困難な特定のリスクと不確実性が含まれることから、DSM はその予測の実現については保証しません。また、DSM は本プレスリリースに含まれる記述を更新する義務を負いません。